

加美町農業委員会では、食農教育推進事業の一環として、町立の保育所と認定こども園児を対象としたサツマイモ栽培の体験学習に長年取り組んでいる。コロナ感染症の流行で中断した年もあったが、今年で35回目を迎える地域の恒例行事となっている。

今年は、59名の子どもたちが対象で、町内2箇所の圃場に分かれて参加した。5月に苗の定植体験が行われ、10月26日には、中新田保育所の園児が収穫を行い、ほかの園でも順次収穫が行われた。園児たちは収穫時に「つるに3つも4つもおいもがついてるよ!」と争うように歓声を上げていた。

収穫したサツマイモに驚く園児



子どもたちが定植したサツマイモは、農業委員と農地利用最適化推進委員が定期的に除草作業などの管理を行ってきた。山間地域に近い圃場ではイノシシによる被害に備えて、6月中旬に電気柵を設置するなど鳥獣害被害対策の結果、順調に育った。

栽培したサツマイモの品種は紅はるか。糖度の高さとしっとりとした食感が特徴で、園側の要望で選定した。収穫物は家へ持ち帰ったほか、各園で焼き芋などにして子どもたちに振る舞われた。

おもわず笑顔がこぼれる



【記事提供】 加美町農業委員会